

## 2018年度 RUBeC 演習 に参加して

田 畑 翔 平

Shohei TABATA

物質化学専攻修士課程 1年

### 1. はじめに

私は2018年8月18日から9月3日までの2週間、本学が北米に設置する海外拠点である RUBeC (Ryukoku University Berkeley Center) に於いて開講された RUBeC 演習 I に参加しました。

RUBeC では平日はテクニカルライティングと英語でのプレゼンテーション練習を行い、パワーポイントを用いた発表の技術向上や英語の発音、研究についての実践的な英文要旨の技術などを学ぶことが出来ました。

また、毎週水曜日には現地の企業及び大学を訪問しており、今回はカリフォルニア州 Santa Rosa の企業である Keysight Technologies 社と Guerneville 所在のワイナリー Korbelt Champagne Cellars 社を訪問しました。大学訪問では U.C. Davis を訪問し、大学と学科の紹介を行って頂きました。

現地での生活はホームステイの形式をとっており、英語での会話を積極的に行い休日には観光地へ出かけるなどして英会話能力の向上に励みました。

### 2. RUBeC での授業について

#### 2.1 テクニカルライティング

水曜日を除く平日の午前中はテクニカルライティングの授業を行い、自分の研究について英語要旨を作成・推敲していました。ここでは事前に用意していた英語の研究要旨を現地スタッフから指導を受けながら、学術的な構文になるよう構成する授業を受けました。構文の他にも発展した内容として、より学術的な英単語を用いる文になるよう推敲する、要旨とは別の例文を用いた文法練習を行うなどのトレーニングも行っていました。結果として相手に英語



図1 最終日の発表の様子

で物事を教える際に簡潔かつ効果的な構文を心掛けることや主語と代名詞を読み手が混乱しないように用いるなどの基礎的な英文法技術を学ぶことが出来ました。

#### 2.2 英語プレゼンテーション

テクニカルライティングの授業を終えて昼食休憩をとった後は英語での研究プレゼンテーションについての授業を受けました。この授業では自分の研究を7枚程度のスライドに纏め、英語で発表できるようにするという学習を行っていました。スライドの作成には約1週間しかかけることが出来ず、受講者は皆帰宅後も作業をするなど真剣に取り組んでいる様子でした。最終日には RUBeC 内の講堂に集合し、一人ずつ皆の前で英語プレゼンテーションを行いました。スライドも英語発表も RUBeC 演習前とは大きく変わり、英語の発音については特に向上を実感できる有意義な演習であったと思いました。

#### 2.3 企業訪問 (Keysight Technologies)

RUBeC 演習 1 週目の水曜日には Santa Rosa にある Keysight Technologies 社の本社を訪問させて頂きました。Keysight は世界最大規模の計測機器メーカーであり、主にオシロスコープや電波計測器、電気テスターなどの電気・電子計測機器の開発・製造・販売を行っています。訪問では簡単な会社紹介の後オフィスや製造ラインの見学を行いました。オフィスフロアはきれいに整備され、オフィスルームにドアを設けず、デスクの仕切りを無くすなどして活

発な意見交換を促す環境作りが進められていました。

## 2.4 企業訪問 (Korbel Winery)

Keysight 社訪問後、カリフォルニアを代表するワイナリーの一つである Korbel Winery を訪問させて頂きました。Korbel はアメリカのシャンパンメーカーとして著名であり、ワイナリー見学ではワイナリーの歴史や醸造の様子を学ぶことが出来、シャンパンのテイスティングも行うことが出来ました。

## 2.5 大学訪問 (U.C. Davis)

2週目の水曜日にはカリフォルニア大学 Davis 校 (U.C. Davis) を訪問しました。Davis 校はアメリカ西海岸でも有数の総合大学であり、1907年に試験農場として設立されました。その歴史的背景もあって生物関連の研究が広く行われており、学内には試験農場や畜産施設など大規模な研究施設が存在していました。当日は理工学部の教授による学校紹介や施設の見学があり、日本の大学との違いを垣間見ることが出来ました。

## 3. 現地での生活

### 3.1 ホームステイ先での生活

RUBeC 演習ではホームステイを行うことになっており、人生初のホームステイを経験することになり貴重な経験を得ることが出来ました。書くホームステイ先ではホームファミリーと家族のように接して生活することになり、家のルールには従う必要があります。私のホームステイ先では特に変わったルールはなかったのですが、飲食についてはリビングで取って寝室ではとらないこと、節電を心掛けるなどのルールがありました。食事に関しては朝食と夕食はホームファミリーと一緒に食べ、昼食は昼休憩

の間に外食をとるという生活が基本パターンになっていました。RUBeC 近辺には U.C. Berkeley もあることから多くの外食店が立ち並びどの店にするか選ぶ楽しさがありました。

### 3.2 休日の様子

土曜と日曜は基本的に休日であり、授業もないので皆それぞれ観光を満喫していました。私の場合は友人とサンフランシスコのダウンタウンやフィッシャーマンズワーフ、少し離れた場所であればサクラメント市などへ観光に行きました。

特にサクラメント市はカリフォルニア州の州都ということもあり、街並みの綺麗さや整備の行き届いた州議会周辺の景観が他の町と比べ印象的でした。さらに、サクラメントの有名な観光地であるオールドサクラメントと鉄道博物館にも行きました。オールドサクラメントは古い街並みを保存、再現した観光地であり、西部の歴史を感じる事が出来ました。

鉄道博物館では開拓時代から現代に至るまでの鉄道の歴史が展示・紹介されていて、アメリカの鉄道の長さや巨大な機関車が印象に残る博物館でした。

## 4. おわりに

今回の RUBeC 演習は単に英語能力の向上だけでなく、ホームステイや現地スタッフとの交流、観光などを通して海外の文化や考え方を肌で感じる貴重な経験になったと思います。この経験は就職活動だけでなくその後の社会人生活を通して役に立つものと思います。今後 RUBeC 演習に参加する人たちにも海外を肌で感じて、見聞きした事物や得た経験を自分なりに生かしてほしいと思っています。